

ポラリス通信

平成28年4月30日(土)にメグレズホールにて18回生の戴帽式が行われました。

戴帽式とは、看護学校において看護職者を志願し、ふさわしいと認められた看護学生がそのシンボルとなるナースキャップを頂く儀式です。このキャップを被ることによって、看護という職業に対する情熱や人の命に関わる責任感を意識するものです。近年、戴帽式を行う看護学校が減っている中、本学院では重要な行事のひとつとして毎年行っています。

本学院の戴帽式では、ナースキャップの戴帽とキャンドルサービスが行われ、ナイチンゲール誓詞や看護職者を目指す者としての決意を誓います。朝や放課後などの時間を活用して、先生方の指導をいただきながら18回生全員で一生懸命取り組む姿が見られました。

本番では家族や在校生、教職員が見守る中、堂々とした18回生らしい姿を見せてくれました。同じナースキャップを戴帽された仲間として、より一層実習や勉学に励んでいきましょう。

編集：広報委員会17回生

キャンドルサービスの様子!

